

放射線安全フォーラム 第72回放射線防護研究会

「甲状腺被ばく量モニタリングの測定器の新たな展開」

開催趣旨

原子力発電所の事故後、放射性ヨウ素の放出による甲状腺がんの増加がチェルノブイリ事故後報告されています。東京電力福島第一原子力発電所事故の際も放射性ヨウ素の放出がありました。初期被ばくの調査は不十分なものでした。このため、万が一の事故に備えて、甲状腺被ばく量個人モニタリングの整備がされてきました。これの一環として、量子科学技術研究開発機構および日本原子力研究開発機構において、甲状腺の放射線を詳細に測定する装置が開発されました。今回の放射線防護研究会では、これらの機器紹介と開発の背景を中心に、測定器の新たな展開について議論を深めます。

参加者の皆様を交えて、有意義な意見交換ができることを期待しています。

記

1. 日時、場所

日時：2022年2月19日(土)13:30～17:00

場所：WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。
快適に参加するために Download の速度は 20 Mbps 以上 をお勧めします。

2. プログラム

司会：立崎 英夫 放射線安全フォーラム 監事

イントロ：立崎 英夫 「甲状腺モニタリングの必要性と検討報告」
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

講演1：栗原 治 「TEPCO 福島原発事故の際の甲状腺測定結果と課題」, 「量子科学技術研究開発機構開発詳細測定装置」
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

講演2：谷村 嘉彦
「小型で取り扱いが容易な遮蔽一体型甲状腺ヨウ素モニタ(詳細測定器)の開発」
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

総合討論：ご登壇の先生方を交えて、討論します。

3. 参加費：(放射線安全フォーラム会員は無料)

一般：2,000円

学生：無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

2月10日(木)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み：ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は100名を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加される方は必ず受付フォームよりフルネームを記入の上、参加申込みをお願いいたします。申込期日後 ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日：2022年2月10日(木)17:00

6. 問合せ：mail@rsf.or.jp

以上